

## 若手もベテランも同じ場で議論できる環境がここに



氏名：加藤 亮輔 かとうりょうすけ

入社年：2018年

出身学校：名古屋大学大学院 環境学研究科 社会環境学専攻

所属：名古屋支店

### ■現在の仕事内容

現在の日本は、一部の大都市圏では公共交通網が発達していますが、全国を見渡すと自家用車がなければ暮らせないというような地域がたくさんあります。しかし、ハンディキャップのある方などは自家用車の運転ができませんし、高齢者の方では認知機能・運動機能の低下を感じて運転免許を返納し、運転から離れる方も多くいらっしゃいます。

こうした現状のなかで、各自治体（地域）における移動の実態を明らかにしたうえで、お住いの方々の暮らしを支える公共交通のめざす姿や、その姿に向かうためのアクションを定める「地域公共交通計画」の作成支援業務を主に担当しています。

### ■仕事のやりがい・エピソード

先に書きました地域公共交通計画策定の流れには、大きく“調査”と“計画作成”があり、そのどちらにもやりがいがあります。

まず調査では、そのまちの課題を突き止めるために市民アンケート調査やバス利用実態調査など多くの調査を行います。これらの調査から得られた結果をみて、調査前に把握していたまちの様子によりハッキリとすると、達成感がこみ上げてきます。

また、計画作成ではプロジェクトに関わる社員はもちろん、時には関連する別のプロジェクトに関わる社員も一体となって、まちの課題出しや方針案の作成に取り組むことがあります。これが時には長引くこともありますが、社内での上下も関係なく、同じテーブルで議論し合う場が持てることに私は楽しさを感じています。

### ■この会社に決めた理由

“まちづくりに関わる仕事で…”、“大学院では立地適正化計画を対象にしていたので…”という「やりたいこと」より、“電車やバスに乗ってまちを散策して…”、“地図を読んでまちの理由を考えて…”といった「好きなこと」を面接で多く聞かれ、その好きなことに興味を持っていただけたことで、人の内面を見ようとしていると感じたことが入社を決め手でした。

また IDEC では支店が3つあり（東京・仙台・名古屋）、地元である愛知県において、やりたいことや自分の興味があるものに触れられることも選んだ理由の1つでした。

### ■学生へのメッセージ

（堅めな話とは趣向を変えて…）IDEC では不定期で社員旅行も実施しています。社員旅行は団体というイメージがあるかもしれませんが、基本的に個人行動という人も多く、案外自由な旅行だなど個人的には入社してから驚きました。

また、会社として若手社員で集まる機会もあり、趣味が合えば遊びに行くこともありました。人数は控えめな会社ですが、色々な年代・趣味の人がいて、刺激をいただきながら楽しく過ごしています。

皆さんも IDEC の仲間として、一緒にまちづくりに取り組んでみませんか？

▼ラフティング中の1コマ

